

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 実用新案出願公開
 ⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭57-73304

⑫ Int. Cl.³
 F 01 D 5/30
 5/14
 5/34

識別記号 動翼
 動翼根部
 7910-3G
 7910-3G
 7910-3G

⑬ 公開 昭和57年(1982)5月6日
 審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ ターピン動翼

⑮ 実願 昭55-149742
 ⑯ 出願 昭55(1980)10月22日
 ⑰ 考案者 長尾進一郎
 横浜市鶴見区末広町2の4 東京

芝浦電気株式会社ターピン工場
 内

⑱ 出願人 東京芝浦電気株式会社
 川崎市幸区堀川町72番地
 ⑲ 代理人 弁理士 則近憲佑 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

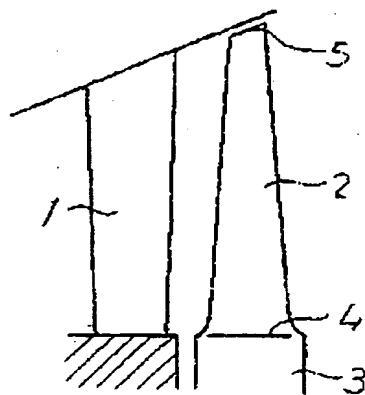
- (1) ノズル固定台と動翼の翼根部とが段差を有する段落の動翼根部に削成した逆丁字の溝に丁字状のピースを嵌合し、ノズル固定台と動翼の翼根部とを同一基線にしたことを特徴とするターピン動翼。
- (2) ピースの前端部はなめらかな曲線をなすように折曲げたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のターピン動翼。
- (3) ピースに代えて動翼の翼根本基線に突出部を設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第2項記載のターピン動翼。

図面の簡単な説明

第1図は従来のノズルと動翼とで形成される段落を示す図、第2図は動翼のターピン回転軸に垂直な面における断面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線に沿う切断面図、第4図はノズルと動翼とが段差がついて配置されている従来の実施例を示す図、第5図は本考案の一実施例を示す図、第6図は第5図の分解斜視図、第7図は本考案による縦断面図、第8図は本考案の他の実施例を示す図である。

2 ……動翼、3 ……補込部、4 ……静翼固定台、
 7 ……翼根本基線、13 ……ピース、15 ……突起、16 ……溝。

第1図



第2図

